

太田小学校 『学習の習慣化』

主体的に取り組む家庭学習（自主学習）を目指して

太田小学校では子どもたちの学力向上に取り組んでいます。学校での授業はもちろんですが、子どもたちの生活の基盤である家庭の関わりがとても大切です。太田小学校では、家庭の協力をいただきながら、学習の習慣化に取り組んでいきたいと思いをします。

学習の習慣化とは、子どもたちの生活リズムを改善しながら学力向上を図ることで、その重点は次の3つです。

- 1 家庭学習の習慣をつけよう
- 2 規則正しい生活リズムをつくろう
- 3 メディアと正しくつきあおう

この『学習の習慣化』では、学習を習慣化するための基本的な考え方や取組方法が書かれています。趣旨をご理解いただき、ご活用いただければ幸いです。初めからすべてに取り組むことが難しい時には、「できるところから」お願いいたします。



【1 家庭学習の習慣をつけよう～家庭に学びの環境を～】

子どもたちの学習への意欲を高め、家庭での学習を習慣化させるためには、学校と家庭の連携・協力が必要です。

「家庭学習の手引き」（別紙）には、学年に応じた「家庭学習のめあて」「学習方法」などが書かれています。お子さんと一緒によく読み、家庭での学習に役立ててください。

1 生きる力…各教科等において、どのような資質・能力の育成を目指すのか？

- ①知識及び技能が習得されるようにすること
- ②思考力、判断力、表現力等を育成すること
- ③学びに向かう力、人間性等を涵養すること



2 学校や家庭が心がけること

(1) 学校が心がけること

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学び合いやの授業改善
- ②教科担当制やT T、個別指導等、児童の実態に応じたきめ細かな指導
- ③朝活動の時間を活用した、読書指導や計算・漢字指導・**家庭学習の提案**

「家庭学習の提案」重点的な取組 家庭学習週間を実施

＜みんなで挑戦！！「太田小 家庭学習トライやるウィーク」＞

・東吾妻町教育委員会が中心となって作成した「東吾妻町ベーシックテスト」等を活用しながら、家庭学習と学校での朝学習を連動させた取り組みを行います。

(2) 家庭が心がけること

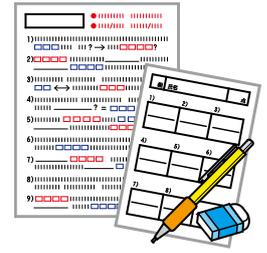
①学習に集中できる環境づくり (テレビを消す 学習する場所を片づける 等)

家庭学習の環境づくりは、多くの参考書を与えることではありません。家庭学習をしている子どもに親が関わることで、学習習慣が身に付くような場づくりから始めることが大切です。

<低学年> 一人で勉強するよりも親の姿が視界に入り、言葉を交わし合える場所で勉強することも必要です。低学年の家庭学習には、家族の手助けが欠かせません。

<中学年> 好奇心が旺盛になり、自立心も芽生えてくることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。だからといって、任せきりにするのではなく、特につまづきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気を起こさせる上でとても重要です。落ち着いて集中できる場と時間を決め、自ら取り組めるよう工夫することがポイントです。

<高学年> 学校での役割が増えたり、放課後の活動などがあつたり、慌ただしくなります。充実した日々を過ごすために、その日の予定を立て、見通しをもって学習することが大切です。学習時間を決め、できるだけ毎日同じ時間帯になるように習慣化することが必要です。必ず、勉強する時間帯を決めさせましょう。



②学習時間の確保 (学年×10分以上…1・2年は30分以上)

③温かいふれあい (子どものがんばりを認め、ほめて励ます)

子どもたちは、おうちの方に認められると学習意欲を増します。ところが、大人はほめることよりもむしろ欠点や直したいところに目を向け、しかったり注意して育てようという傾向があります。宿題の見取りでは、できていないところばかりに、つい目がいてしまいがちです。頑張ったところを具体的にほめてやるのが効果的です。

「音読が上手で、お母さんもお話を楽しめたわ。」

「難しい問題にも粘り強く挑戦しているね。」

「今日は帰ってすぐに宿題を始められてすごい。」

「途中の計算がきちんと書いていてどう考えたかわかるわ。」等

④早寝・早起き・朝ごはん・アウトメディア 等

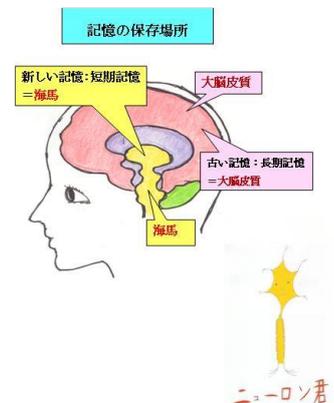
(3) 家庭学習の効果

①授業で学習した内容をより確かなものにします。

授業で学んだ新しい記憶：短期記憶は脳の海馬へ、家庭学習をするとニューロンという物質の働きを活発にし、短期記憶を大脳皮質へ移して**確かな記憶**＝古い記憶：長期記憶にします。

②自ら学ぶ習慣 (学習の習慣化) が身につきます。

③地道に努力するためのがまん強さや自己決定力が身につきます。



(4) 家庭学習のめあて

低学年：「**基本的な学習習慣**」を身につけよう

中学年：「**自分から学習する習慣**」を身につけよう

高学年：「**学習に主体的に取り組む力 (自主学習)**」を身につけよう